ふれあいネットワーク

ふれあい

第５期地域福祉実践計画策定に伴う『地域懇談会』開催

～福祉のまちづくりをめざして～

別海町社会福祉協議会「第５期地域福祉実践計画（H29～31年度）」策定にあたり、地域住民の意見・要望・ニーズを反映させるため、７月25日の中春別を皮切りに、別海、西春別駅前、尾岱沼の４会場で地域懇談会を開催しました。（２ページをご覧ください）

No. 117
2016.10

別海社協だより

社協だより「ふれあい」は赤い羽根共同募金の一部助成を受けて発行しています

発行 社会福祉法人 別海町社会福祉協議会
〒086-0203 北海道野付郡別海町別海西本町36番地
TEL (0153)75-2148・FAX 75-0457

7～8月

第5期地域福祉実践計画策定に伴う「地域懇談会」を4会場で開催

地域福祉とは

各地域において人びとが安心して暮らせるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方です。

社会福祉法では、市町村は、地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める「市町村地域福祉計画」を策定することが定められており、このたび別海町社協では「別海町地域福祉計画」との整合性から、平成29～31年度まで3年間の実践計画を策定します。

地域福祉実践計画とは

「わがまちの社協がどのような福祉のまちづくりをめざしているか」を地域住民に明らかにするもので、「地域福祉活動計画」、「社協発展強化計画」という二本で構成されます。

今回策定にあたり、5月の住民アンケートに続き、地域住民の意見・要望・ニーズを反映するため、町内会役員、民生委員児童委員、老人クラブ、ボランティアの皆さんに参加いただき、町内4カ所で地域懇談会を開催しました。

第4期実践計画の振り返り、5月に実施した住民アンケートの結果報告、「私の町の良いところ、こんなサービスがほしい、私たちにできる活動」をテーマにしたグループ懇談を行いました。

第5期地域福祉実践計画

～住民アンケート結果報告～

5月社協だより（5650部発行）に折り込み、341件の回答をいただきました。

回答者の85％が50歳以上で、特に、60歳以上の方からの回答が全体の67％を占めていて、高齢者に関する問題や地域でのたすけあい、災害時のたすけあいに関心が高い結果となりました。

実際に近所の人に頼まれた場合では、安否確認の声かけ、話し相手、福祉牛乳の受け取りなどで協力が可能という回答が多く、大人から子供まで安心して暮らすことができるように、身近な人や地域のつながりを深め、お互いにたすけあえる関係づくりが必要とされていることがうかがえます。

今後は、今回のアンケートの結果、町内4地区で行った地域懇談会での意見をふまえた第5期地域福祉実践計画の策定に取り組んでまいります。

以下、アンケート結果（抜粋）

問9　あなたはご近所の方と、どの程度のお付き合いがありますか

選　択　肢	回答	割合
1．家に遊びに行くなど親しくしている	87	25.5%
2．会えば立ち話をする程度	162	47.5%
3．挨拶をする程度	73	21.4%
4．あまり付き合いがない	10	2.9%
5．近所にどんな人が住んでいるかわからない	2	0.6%
6．その他	3	0.9%
7．無回答	4	1.2%
合　計	341	100.0%

問11　今後、地域ではどのような活動が必要だと思いますか

（○は3つまで）

選　択　肢	回答	割合
1．子育て（子ども）に関する活動	95	12.1%
2．青少年の健全育成に関する活動	49	6.2%
3．高齢者に関する活動	162	20.6%
4．障がい者（児）に関する活動	26	3.3%
5．自然や環境保護に関する活動	57	7.3%
6．スポーツ・文化に関する活動	31	3.9%
7．地域行事への参加	76	9.7%
8．地域での日頃の助け合い活動	153	19.5%
9．災害時に助け合える関係づくり	133	16.9%
10．その他	4	0.5%
合　計	786	100.0%

第5回 福祉まつり ～来て・見て・つなごう 福祉の輪～

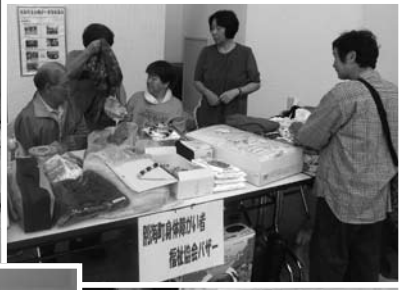
8月28日(日)、別海町中央公民館を会場に、福祉まつりを開催しました。

福祉まつりは、ボランティアの活動発表やPRを通じて、地域福祉の輪を広げることを目的とし、5回目を数えました。

今年は、あいにく小雨の中での開催となりましたが、福祉用具の展示・体験・相談コーナーや、ボランティア・福祉団体による日用品のバザー、パンなどの販売、手話の体験と手話歌の発表や、たこ焼き・焼きそば・非常食の販売を通して、日頃の活動のPRを行いました。

ステージ前では、日頃からボランティア活動をしている方々による人形劇、ふまねっと、バンド演奏を行い、来場された皆さんが交流を深めました。

社協では防災グッズの展示を行い、来場された皆様に災害に対する備えを呼びかけました。



問13　あなたはどのようなことを手助けしてほしいですか
（○は3つまで）

選　択　肢	回答	割合
1．短時間、子供を預かってほしい	8	1.9%
2．茶飲み友達として遊びに来てほしい	29	7.0%
3．買い物や病院に連れて行ってほしい	15	3.6%
4．福祉牛乳の受け取り	18	4.3%
5．掃除を手伝ってほしい	5	1.2%
6．庭の草刈りや簡単な日曜大工	48	11.6%
7．除雪を手伝ってほしい	88	21.2%
8．特にない	200	48.2%
9．その他	4	1.0%
合　計	415	100.0%

問21　今後、参加したいボランティア活動がありましたら教えてください
（○は3つまで）

選　択　肢	回答	割合
1．子育て（子ども）に関する活動	48	9.0%
2．青少年の健全育成に関する活動	17	3.2%
3．高齢者に関する活動	87	16.3%
4．障がい者（児）に関する活動	27	5.0%
5．自然や環境保護に関する活動	54	10.1%
6．スポーツ・文化に関する活動	29	5.4%
7．地域行事への参加	93	17.4%
8．見守りや声かけ活動	87	16.3%
9．災害時の支援活動	84	15.7%
10．その他	9	1.7%
合　計	535	100.0%

問14　あなたは福祉の分野でどのようなことに不安や悩みを持っていますか
（○は3つまで）

選　択　肢	回答	割合
1．育児・子育てに関する事	25	4.0%
2．青少年の健全育成に関する事	17	2.7%
3．認知症に関する事	135	21.5%
4．家族の介護に関する事	98	15.6%
5．健康の維持・増進に関する事	121	19.3%
6．障がい者（児）に関する事	22	3.5%
7．災害時の対応に関する事	112	17.9%
8．近くに頼れる人がいない事	40	6.4%
9．特にない	57	9.1%
合　計	627	100.0%

平成28年度 社協会員会費収納状況（中間報告）

平成28年8月31日現在

平成28年度の「社会福祉協議会会員会費」及び「賛助会費」について、ご協力を賜りありがとうございました。

社協会費は、福祉活動の安定した運営のための貴重な財源であり、「福祉のまちづくりに、財政面で参加いただく」ことにもなります。

会費の納入がお済みでない町内会は、社会福祉協議会事務局、または役場支所・連絡事務所で納入をお願いします。

※一般会費（3,246世帯）	2,775,620円	全世帯数（4/30基準）	6,422世帯
※賛助会費（10企業）	255,000円	実　績（8/31現在）	3,246世帯
合　計	3,030,620円	納入率（8/31現在）	50.5%

一般会費（敬称略）

町内会名	世帯数	金額（円）
北鳴町内会	23	23,000
北西別町内会	23	22,000
昭和町内会	30	30,000
東矢地区会	20	20,000
北矢臼別連合会	22	22,000
奥行町内会	21	21,000
桜が丘町内会	12	12,000
別海連合町内会	1,206	977,060
中春別町内会	183	128,200
中春別地区協議会	40	40,000
豊原連合会	65	65,000
美原連合会	76	40,000
走古丹町内会	45	45,000

町内会名	世帯数	金額（円）
本別海町内会	80	80,000
床丹町内会	50	50,000
尾岱沼連合町内会	320	307,000
中西別地区連合会	137	131,000
上風連連合会	44	32,000
上春別地区連合会	230	230,000
北栄町内会	14	13,000
70区町内会	10	10,000
33区地域会	20	20,000
柏野町内会	22	22,000
西春別駅前連合町内会	310	210,360
大成地区協議会	45	39,000
本別連合会	32	32,000

町内会名	世帯数	金額（円）
泉川町内会	24	24,000
光進町内会	32	32,000
共春町内会	19	19,000
西和地区会	14	14,000
拓進地区会	17	17,000
さくら町内会	24	12,000
新富中央地区会	4	4,000
第25地区会	9	9,000
協和地区会	10	10,000
宮城地区会	11	11,000
東部新富地区会	2	2,000
合　計	3,246	2,775,620

賛助会費（敬称略）

賛助会員名	金額（円）
別海町内農協連絡協議会	75,000
別海漁業協同組合	30,000
野付漁業協同組合	30,000
大地みらい信用金庫別海支店	20,000
雪印メグミルク㈱別海工場	20,000
森永乳業㈱別海工場	20,000
別海町森林組合	20,000
雪印種苗㈱別海営業所	20,000
㈲菅野整備工場	10,000
㈲マシタ	10,000
合　計	255,000

各町内会合計額にて掲載させていただきました。単位町内会ごとの状況については、お問い合わせください。 TEL75-2148

「敬老祝品贈呈事業」10月25日まで申し込み受付します

社会福祉協議会では、9月末現在で満70歳の町民を対象に希望者を募り、町内会を通じて「敬老祝品」を贈呈しました。

申し込みをお忘れの方について、次のとおり受付期間を延長しますので、社協に申し込んでください。

【対象者】
本年9月末で満70歳の方
※昭和20年10月1日～21年9月30日生まれ

【申込期日】
本年10月25日まで

【申込先】
社協　地域福祉係　TEL0153-75-2148

この「敬老祝品贈呈事業」は、〝赤い羽根共同募金〟の助成を受けて実施しています。

ご寄付ありがとうございました

平成28年6月18日～9月20日まで

（敬称略）

―６月―

山田ひろみ（美原）

―７月―

奥田　勝教（尾岱沼岬町）
井関　　勲（西春別駅前錦町）
中春別ほっこり市（中春別）
上石　初男（西春別駅前西町）
木下美恵子（別海宮舞町）
九里　昭子（西春別駅前西町）
高橋　芳雄（別海）
中垣　琴子（泉川）

―８月―

髙山　一夫（別海）
大月　安子（中西別）
船崎　律子（北見市）
髙橋　　亨（泉川）
佐藤　鈴子（別海）
下地　　哲（別海）
平沢　　博（別海宮舞町）
角田　芳子（西春別駅前栄町）
阿部　隆美（上春別）

―９月―

桜井　重貴（中西別）
二木　勇一（東京都世田谷区）
猫塚　良彦（別海緑町）
大森　雅喜（尾岱沼）
佐々木正彦（別海常盤町）
渡邊　徳子（走古丹）
菅原　美奈（別海）
泉　幸子（別海常盤町）

日常生活自立支援事業のご案内

社会福祉協議会では、福祉サービス利用の手続き・支払いや、生活費の管理、定期預金・年金証書などの大切な書類の預かりをお手伝いします。ご相談ください。

○利用できる方

高齢や障害により日常生活の判断に不安のある在宅生活者及び在宅生活する予定の方

○利用料

１回（１時間程）1,200円と生活支援員の交通費等実費

※生活保護受給者は無料

■相談・問合せ先

別海町社会福祉協議会　地域福祉係

TEL 0153-75-2148

コラム　５つの力

先日、職場に関する資料を読んでいると、「職場でストレスとなっている原因」の第１位は「人間関係」で43％、次いで仕事が面白くない等「仕事の内容」が32％、以下「仕事の量が多い」21％、「仕事の量が少ない」と回答した人が４％でした。

福祉、とりわけ介護に関する仕事は、ストレスが原因の離職率が高いと言われています。

少し前に報道されていましたが、介護施設・事業所の４割が介護職員不足を訴えておりました。実態は、この数字の倍ほどあるのではないかと思われます。

社協が経営している介護保険事業に訪問介護や訪問入浴がありますが、この二つの事業所も、報道の例に漏れません。

どうすれば、ストレスを軽減して、介護の第一線で働いてくれるのか。

職場環境を良くする、イコール人間関係を良くする、その結果質の高いサービスを提供できる方法はないだろうか。そんな時に、「５つの力」の話を聞きました。

①観察力（相手の話し方、表情、しぐさなど）

②傾聴力（相づち、共感、言葉に秘められた真意を聴く）

③対話力（とことん話してみる、真剣に向き合う）

④質問力（理解するために質問する、関心を伝える）

⑤承認力（①から④をベースに、考え方、能力などを素直に認め、伝えること）この「５つの力」の実践が職場環境（家庭にも当てはまります）、人間関係を好転させる大きな力となるとのことです。

「何々力」と聞くとなにやら難しく感じられるかも知れませんが、相手を見て、話を聴いて、分らないところはお互い聞き合い、対話する。その中で相手の考え方や自分の意見を認め合う。それを繰り返すことによって良好で長続きする人間関係に入っていくことができるのだと思います。

聴くこと、話すことは福祉の第一歩です。二歩目が、人を認めて寄り添うこと。三歩目は、皆が笑顔になることです。

多少なりとも福祉に携わる者として、一番大切なのは、人と人とのつながり、絆だという姿勢で皆さんと一緒に超高齢化社会をこれからも考えて行きたいと思います。

（文責　S）

7月23日㈯

第2回「ふれあいレクリエーション」開催

7月23日㈯別海町総合スポーツセンターにて「第2回ふれあいレクリエーション」を開催しました。

障がいの有無や年齢を問わずスポーツレクリエーションを楽しむことで親睦・交流を深め、ノーマライゼーション理念の啓蒙を図ることを目的とし、今年で2回目の開催となります。

当日は105名の参加により、全9種目のスポーツレクリエーションを楽しみました。

競技に出場する選手みなさんに、応援席からも大きな声援が贈られ、どの競技も大いに盛り上がりました。

参加した皆さんの笑顔が溢れる楽しいひと時となりました。

第35回『別海町花いっぱいコンクール』

―花で街に潤いを！中春別町内会、開南町内会に最優秀賞―

今年も別海町町内会連絡協議会（山口長伸会長）では「別海町花いっぱいコンクール」を実施。17町内会より応募があり、9月4日に審査を行いました。

連合町内会の部では中春別町内会（降旗和人会長）が、単位町内会の部では開南町内会（信田洋司会長）が最優秀賞に決定しました。

最優秀賞以外の入賞者は次のとおりです。

【連合町内会の部】

優秀賞　別海連合町内会

優良賞　西春別駅前連合町内会

【単位町内会の部】

優秀賞　床丹町内会

優良賞　別海第二旭町内会

◀中春別町内会

▶開南町内会

◀床丹町内会

10月1日～12月31日

じぶんの町をよくするしくみ

〝赤い羽根共同募金運動〟に御協力お願いします

別海町共同募金委員会

赤い羽根共同募金は、〝たすけあい精神〟の啓蒙と民間が行う福祉事業支援に必要な財源を確保するために社会福祉法に基づいて行う計画募金です。

皆様のあたたかい御支援と御協力により、道内並びに本町において様々な福祉活動が行われています。

つきましては、出費多端の折とは存じますが、後日、町内会の班長または役員が伺いますので、本運動の趣旨を御理解いただき特段の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

【募金活動の日程】

○戸別募金
10月1日～12月末
町内会の役員・班長さんを通じてお願いします

○法人（企業）募金
11月1日～11月末
地域の募金ボランティアが伺います

○この他「学校募金」「募金箱設置」をお願いしています

※共同募金の一環として12月1日から実施する〝歳末たすけあい運動〟については、各種団体・職場を通じて募る予定です

※いずれも募金を強請するものではありません

備えていますか？災害は忘れないうちにやってきます

地域で地域防災啓発事業

～別海鶴舞町～

9月4日(日)別海連合町内会主催の自主防災訓練の防災研修として、鶴舞町内会では21名が参加し、別海近隣で買える非常食・防災グッズの紹介を行いました。

本格的な非常食があれば安心ですが、町内のスーパーやコンビニで買えるフリーズドライ食品、スナック菓子や乾麺、インスタント食品を常時ストックすることで、非常時でも食事が可能です。

ライトや、発電機能が付いたラジオ等は町内のホームセンターや電気店でも購入可能です。

これからの季節は台風での暴風雨、冬期間の暴風雪での停電や道路の通行止めにも気を付けてください。

ケアマネの部屋 5

ほっとTime

ケアサポートしゃきょう

ケアマネジャー（介護支援専門員）って何をしてくれる人？

「居宅サービス計画書」通称・ケアプランは、利用者さんが主人公の計画書です。利用者さんのできること、していること、こんな生活がしたいという気持ちを把握し、目標をたてます。

孫のために元気でいたい、またパチンコに行きたい、また海外に行きたい、彼女が欲しい…これまでに利用者さんのこんな「したい生活」のお手伝いをしてきました。中には「困ってることなんかない」「今のままでいいんだ」という方もいます。そんな方には、（より快適な暮らしにするために必要なことはないか）を共に探るお手伝いをさせていただいています。

日々介護されている家族の皆様。毎日本当にお疲れ様です。利用者さんは家族の一員です。ケアプランは家族の方の生活と介護の両立、介護休養について共に考え、利用者さんや家族が共に快適な暮らしができることを目標にすることもできます。

「こうありたい」生活について共に考えませんか？私たちにそのお手伝いをさせてください。（宮）

お知らせ

第39回 別海町社会福祉大会のお知らせ

【日　　時】平成28年10月26日㈬　9時30分～
【会　　場】別海町マルチメディア館（別海旭町）
【式典・表彰】　9時30分～10時30分
【講　　演】10時45分～12時15分
「見直そう 近所力・地域力」
【講　　師】多田　そうべい 氏

○プロフィール
元殿さまキングス、NPO法人「命のつどい」理事長
ギター・ボーカルとしてハワイアン界の第一線で活躍した後、コミックバンド「殿さまキングス」を結成。1974年には、「なみだの操」が大ヒットする。また、「大人の寺子屋」を開設し、講師としても活動を行う。「殿さまキングス」解散後は、執筆活動の傍ら、骨髄バンクの支援のため、「命のつどい（NPO法人）」理事長として活動中。2000年には、骨髄バンク啓蒙運動が認められ、「全国骨髄バンク推進連絡協議会」より、特別功労賞を受賞。
『普段から隣近所疎通を図り、お互い気軽に声を掛け合うことが、「近所力・地域力」の原点です』と話されます。

参加費無料

たくさんの
ご来場をお待ちしています

【問合せ】
別海町社会福祉協議会
TEL 0153-75-2148
※講演の開始が早まる場合があります。早めにお越しください。

平成28年度
「児童生徒進学（就職）支援金交付事業」の申請を受け付けます（11月25日〆切）

別海町共同募金委員会では、今年も12月１日から“歳末たすけあい運動”を展開します。
社協では、皆様から寄せられた歳末募金の助成を受け「児童生徒進学（就職）支援金交付事業」を行います。
該当される方は、印鑑を持参のうえ、「要保護児童生徒認定通知書」（町教育委員会からの通知）を添え、申請してください。

【対象世帯】町内在住で、「要保護児童生徒」の認定を受けた児童及び生徒（小学校６年生、または中学校３年生に限る）の保護者
【支 援 金 額】１万円
【交付時期等】12月下旬に民生委員を通じて交付
【申 請 期 日】平成28年11月25日〆切
【申 請 場 所】別海町別海西本町36番地
社会福祉法人別海町社会福祉協議会
企画調整係　TEL0153-75-2148

パート職員募集

■業務内容
訪問入浴介護および訪問介護
■募集人員
オペレーター（運転・機械操作）１名
介護員　若干名
■資格要件
いずれも要普通自動車運転免許
介護員は介護員初任者研修修了者
（または２級ヘルパー）以上
■給与・賃金
当協議会給与規定に基づき支給します
■提出書類
履歴書（写真添付）・資格取得証明書
（証明写し、または見込証明書）
※履歴書は返却できません
■提出期日
平成28年10月21日㈮まで
■提出・問合せ
別海町社会福祉協議会
TEL0153-75-2148
（平日9：00～17：00）